

令和3年度（2021年度）
北海道教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書
(原案)

令和4年（2022年） 月

北海道教育委員会

は　じ　め　に

新型コロナウイルス感染症が発生してから2年以上経過した今なお、収束に至っていない状況下において、感染症対策及び子どもたちの学びの保障に御尽力いただいております学校関係者の皆様並びに保護者や地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

北海道教育委員会では、日々の感染症対策に加え、令和3年度から導入された児童生徒一人一台端末を活用した効果的な学びの促進や教員のICT活用指導力の向上、様々なストレスや課題を抱える子ども達の心に寄り添う体制の強化、体力の維持・向上に関する取組、教員の働き方改革による子どもたちと向き合う時間の確保など、児童生徒が安心して学べる環境づくりに努めてきたところです。

平成20年度（2008年度）から北海道教育委員会では、効果的な教育行政の推進を図り、道民の皆様への説明責任を果たす観点から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、学識経験者の知見も活用しながら、自らの事務の管理・執行状況について毎年度点検・評価を実施しています。

今回は、令和3年度（2021年度）に北海道教育委員会が行った活動や、「北海道教育推進計画」（計画期間：平成30年度（2018年度）から令和4年度（2022年度）までの5年間）に掲げた施策について、PDCAサイクルにより取組の状況や施策の課題、今後の方向を整理するとともに目標指標の進捗状況を踏まえた点検・評価を行いました。

この点検・評価に当たっては、有識者で構成する「北海道教育推進会議」を計3回開催し、委員各位から多岐にわたった貴重な御意見を頂戴しました。

委員の皆様のお協力に深く感謝申し上げます。

北海道教育委員会としては、引き続き施策の効果の検証と改善を図りながら、着実に教育施策を推進してまいりますので、今後とも、道民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和4年（2022年）8月

北海道教育委員会